

機械器具 (74) 医薬品注入器
一般医療機器 単回使用輸液容器 35127000

トップ 定量筒

再使用禁止

【警告】

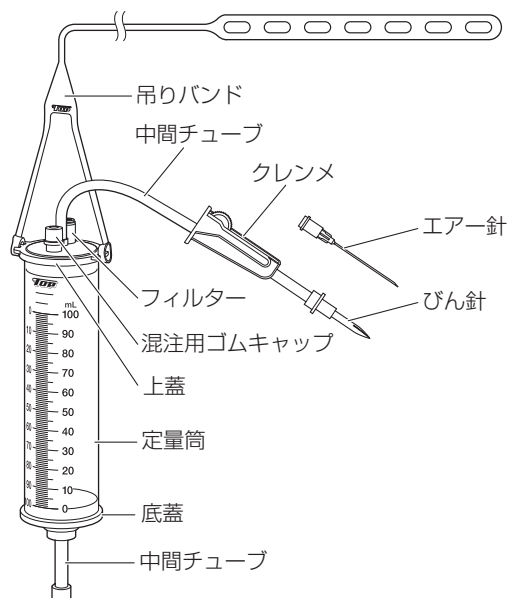
- 針を用いて混注する前に、必ず混注部位を消毒用アルコール（又はポビドンヨード）を含ませた酒精綿等で消毒すること。[細菌が混入するおそれがある]

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>



- 本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：トリメリット酸トリス(2-エチルヘキシル))を使用している。

(材質)

びん針	ポリカーボネート
混注用ゴムキャップ	イソブレンゴム
定量筒	ポリプロピレン
中間チューブ	ポリ塩化ビニル
上蓋・底蓋	ABS

(仕様)

- JIS T 3211 (滅菌済み輸液セット) の5.14定量筒を準拠する。

【使用目的又は効果】

- 本品は、定量筒内で輸液量の設定および注射薬の濃度調整を行うために用いられる。

【使用方法等】

●プライミング操作

1. 正立させた薬液ボトルのゴム栓の所定の位置に、エアークレンメを垂直に突き刺す。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・ソフトバッグの場合は、この操作は不要です。
- 2. 必要な場合は、薬液ボトルに薬液を混注する。
- 3. 定量筒下部のチューブに、他の輸液セットを接続する。
- 4. 定量筒下部の輸液クレンメ（他の輸液セット）とびん針下部のびん針クレンメをしっかりと閉じ、正立させた薬液ボトルの所定の位置にびん針を垂直に突き刺す。

5. 薬液ボトルをつるす。

6. びん針クレンメを開いて薬液を必要量だけ定量筒に移し、再びびん針クレンメを閉める。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・薬液ボトルをつるす際、びん針が抜け落ちるのを防ぐために、吊りバンドをガードル台の先端に通し、セットの重量をささえるようにすること。
- 7. 回路内のエアを完全に抜き(プライミング)、輸液を行う。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ※ ・使用前、各接続部がしっかり接続されていることを確認すること。また、使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れについて、定期的に確認すること。

※ <不具合・有害事象>

1) その他の不具合

汚染(個包装の破損等)、チューブの破損、破断(過剰負荷等)、接続不良(緩み、漏れ、空気混入、固着)、接続部の破損(過剰応力等)

2) その他の有害事象

感染症

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

<有効期間>

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ (添付文書の請求先)

TEL 03-3882-3101

